

クレジット:

UTokyo Online Education Education コンピュータシステム概論 2018 小林克志

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



Branch: master ▾ 04-python-02-hnishida / exercises-45.ipynb

Find file Copy path

 ikob initial commit

3b9b96f 4 days ago

1 contributor

116 lines (115 sloc) 3.4 KB

講義での利用方法 (**重要**)

講義では、とくに指定のない限り（動作する）Python プログラム形式 (.py)として提出すること。実際には、セルで動作を確認したプログラムスクリプトをクリップボードにコピー、Python プログラムエディタにペーストするという方法が現実的と思われる。もちろん自身が普段使い慣れているエディタを利用してもかまわない。

提出の前に (**重要**)

1. プログラム (.py)が動作するか、コマンドシェルから確認すること。
2. ファイル名を間違えないこと。教員は課題評価の際にファイルを漁ったりしない。

課題 7. 可視化 (その1)

btc.ipynb などを参考に、公開されている1次元の数値列データをプロットするプログラムを作成せよ。

プログラムファイルは `myplo.py` として、可視化内容の説明・考察を（プログラムの説明ではない）を Markdown 形式で `myplo.md` に記述、教材配布 GitHub レポジトリにアップロードすること。

評価基準は、例えば以下が挙げられる:

- 利用したプロットオプション
- データ形式の困難さ、たとえばネ申エクセル度
- 秀逸なテーマには加点する

以下のセルを修正してもよい。

```
In [1]: def myplot():
        return
        myplot()
```

課題 8. 可視化 (その2)

cartopy.ipynb などを参考に、公開されている情報と地理情報を組み合わせ、可視化するプログラムを作成せよ。

プログラムファイルは `mymap.py` として、可視化内容の説明・考察を（プログラムの説明ではない）を Markdown 形式で `mymap.md` に記述、教材配布 GitHub レポジトリにアップロードすること。

以下のセルを修正してもよい。

```
In [ ]: def mymap():
        return
```